

令和7年度シラバス

作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
老年期障害治療学Ⅱ		演習・講義	岡田 誠暁	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
老年期障害治療学Ⅰの授業で基礎的な知識を学んだうえで、実際の関わり方、作業療法の評価、援助方法についてグループ演習を通して学ぶ。実技を通して障害を有する高齢者への援助技術を習得する。				
授業の到達目標				
1. 高齢者への基本的なかかわり方を実践できる。 2. 老年期作業療法における評価項目をあげ、実践できる。 3. 上記の評価から問題点の焦点化ができる。 4. 老年期作業療法を企画・立案できる。 5. 対象者への介入方法を実践、説明ができる。				
授業計画				
回	内容			
1	高齢者の評価 計画と内容			
2	高齢者の評価 実際			
3	高齢者の起居・移乗動作の介助方法			
4	高齢者の姿勢の特徴と対応 良肢位保持			
5	高齢者の姿勢の特徴と対応 車いす調整 シーティング ①			
6	高齢者の姿勢の特徴と対応 車いす調整 シーティング ②			
7	介入事例 ADL・IADL 役割			
8	介入事例 近接援助技術			
9	リスク管理 ①			
10	リスク管理 ②			
11	家族と高齢者介護			
12	高齢者の在宅医療 ターミナルケア			
13	介護保険制度 地域連携			
14	権利擁護 成年後見制度 その他			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	85%	上記の授業内容に準じて試験で評価する。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	15%	グループワークでの課題や実技演習時の取り組みによって評価する。		
自由記載	再試験は筆記試験100%で成績判定を行う。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
最新リハビリテーション基礎講座 老年学		荒井秀典・山田実	医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 老年学 第5版		大内尉義	医学書院	
老年期の作業療法 改訂第3版		浅海奈津美・守口恭子	三輪書店	
自由記載				
備考				
授業の予定は前後変更する可能性がある。変更の場合は随時通知をする。 実技を行うため、動きやすい服装で参加すること。				